第二十四回定例公演　公益社団法人能楽協会九州支部

# ほおずき能

狂言　樋の酒（ひのさけ）　吉住　講

能　阿漕（あこぎ）　狩野　了一

他　舞囃子・仕舞

令和6年

## 8月25日(日)

13:00開演〔12:00開場〕

## 大濠公園能楽堂

福岡市中央区大濠公園1-5　TEL092-715-2155

全席自由

一般 5,000円（当日6,000円）

学生 2,000円　※未就学児入場不可

プレイガイド

◆大濠公園能楽堂　092-715-2155

◆チケットぴあ

WEBまたはセブンイレブンにて販売〔Pコード　525-716〕

◆ローソンチケット

WEBまたはローソン、ミニストップにて販売〔Lコード　84333〕

### 《事前講座》

8月8日（木）18:30開演（18:00開場／19:30終了予定）

会場／大濠公園能楽堂楽屋（楽屋入口より入場）

◎入場無料（どなたでも受講できます）

交通アクセス

■地下鉄
「大濠公園」または「唐人町」下車
徒歩7分

■西鉄バス
「黒門」または「大濠公園」下車
徒歩5分

主催／公益社団法人能楽協会九州支部

後援／福岡県　福岡市

# 第二十四回定例公演　公益社団法人能楽協会九州支部

# ほおずき能

## 東方朔

舞囃子（観世流）
多久島法子　大鼓　白坂　保行
多久島利之　小鼓　幸　正佳　笛　森田　光次
地謡　井内　政徳　鷹尾　章弘　鷹尾　維教　久保誠一郎

## 笠之段

仕舞（金春流）　名和　長承
地謡　田中　秀実　櫻間　右陣　東　軍三

## 大江山

仕舞（宝生流）　東川　光夫
地謡　久貫　弘能　山岡　晴美　石黒　実都

## 箙

仕舞（観世流）　山口剛一郎
地謡　今村嘉太郎　森本　哲郎　今村　一夫

## 熊野

村雨留　菊本　澄代
舞囃子（観世流）
大鼓　白坂　保行　小鼓　幸　正佳　笛　森田　光次
地謡　多久島法子　菊本　美貴　今村　宮子　木月　晶子

## 樋の酒

狂言（和泉流）
太郎冠者　吉住　講　主
次郎冠者　吉良　博靖　野村　万禄
後見　上杉　啓太

（休憩　二十分）

## 阿漕

能（喜多流）
前漁師　後阿漕の霊　狩野　了一
男　御厨　誠吾
浦人　渋田　昭典
大鼓　白坂　信行　小鼓　飯冨　章宏　太鼓　吉谷　潔　笛　浦　政徳
地謡　工藤　義彦　大島　輝久　谷　友矩　金子敬一郎　狩野　祐一　粟谷　充雄
後見　高林　呻二　渡辺　康喜

終了予定　16時過頃

◎仕舞（しまい）…一曲の舞所を紋付・袴にて、囃子を入れずに舞う事。
◎舞囃子（まいばやし）…一曲の主要な部分を紋付・袴にて、囃子を入れて舞う事。

※演能中の写真撮影及び録音・録画はご遠慮ください。
※能楽堂の見所内でのご飲食はご遠慮ください。

### 《予　告》

公益社団法人能楽協会九州支部 普及公演

**クリスマス能**

令和6年12月22日（日）13時開演
大濠公園能楽堂
◇入場料／全席自由　3,500円
能（観世流）「菊慈童」森本　哲郎
狂言（大蔵流）「文荷」秋吉　英二
他、狂言小舞、舞囃子、仕舞

## ●演目解説●

狂言「樋の酒（ひのさけ）」

主人が外出する事になり、米蔵と酒蔵を預かる事になった太郎冠者と次郎冠者。酒蔵担当の次郎冠者は、寂しさしのぎに酒を飲み始めます。それを知った太郎冠者も、たまらず飲みたくなり、次郎冠者の機転でお酒を飲むことになりましたが…。

能「阿漕（あこぎ）」

日向国の者が伊勢参宮を思い立ち、伊勢国までやって来ます。ちょうど現れた一人の老漁師に、ここが阿漕が浦であることを教えられたので、この浦　を詠んだ古歌を口ずさむと、老人も別の古歌を詠じます。そこで旅人が、この浦の名のいわれを聞くと、老人は、昔からこの浦は、神宮の御膳のための網を入れるところなので、禁漁となっていたが、阿漕という漁師が度々漁をしていた。やがてその事がわかって、彼は捕らえられ罰としてこの沖に沈められた。そのことから阿漕が浦というようになったと物語り、その罪に今も苦しんでいるので弔って下さい、と阿漕の幽霊であることをほのめかします。夕暮れの海辺に網を打つさまを見せると、急に海が暗くなり荒れて燈火も消え果て、恐ろしい叫びを残して闇の中にその老人は消え失せます。旅人は不思議に思って、浦の人に、阿漕が浦の故事を聞き、先程の老人の話をすると、きっと阿漕の亡霊にちがいないから回向するようにすすめます。旅人が、経を読誦していると、阿漕の亡霊が網を持って現れ、密漁の有様と地獄での苦しみを見せ、救ってほしいと願って、また波間に消えてゆきます。